



発行所 水谷商相磐炭へ 電話 七四一四番

### 水谷商相磐炭へ

きの、一行四十二名を帯同して

増炭にはげむやまの戦た町民も重たに笑顔  
主を慰問激闘と視察を以て挨拶を交して自動車  
かねて水谷商工大臣は常磐炭礦坑務所に  
富吉政務官、渡邊生産たり、いつたん休憩の  
局長、雲江、村上兩秘の五時から入山會館  
書官及び石炭増産協議で天越所長の概況説明  
會伊藤、正木、深津各を聴取してから徒歩で  
代議士、西山資金班長、本坑をはじめ自動車  
濱田、雲江兩參議院議で小名濱坑や第四坑を  
員、菊地鐵業會副會長つづきに視察、増炭に  
松本炭協議長一行四はげむ職員ややまの職  
十二名とも二十九士を慰問激闘、夜は七  
日豫定より途中高萩時から淺野記念館で開  
炭礦まで出迎えた常磐炭礦の職組、労組代表  
炭礦組の人たちと一との懇談會にのみ同  
緒に午後四時三十分湯夜は常磐炭礦内御別  
本講堂、講堂に出迎え館に一泊した

### 平市民に挨拶

勞資懇談會へも臨む

なつきよう三十日は午  
前七時から坑内服に着  
替えて第六坑に入坑、  
坑内をつぶさに視察し  
て坑内の人たちを激勵  
十時から自動車で平に  
向い十一時半から磐城  
高女に開かれた勞資懇  
談會にのぞんで午後二  
時半から平驛頭で市民  
に大要つぎの如く挨拶  
同三時二十分平驛頭車  
で歸京した  
現下の危機突破には  
どうしても石炭を生  
産よりほかにない、石  
炭三千万トンの目標  
を達成するには、これ  
の石炭を掘らねばな  
い、今職會がはじま  
るまえに九州、北海  
道、常磐の各炭礦  
を廻るわけだつたが  
間に合はないので常  
に四年生三千万ト  
をこなさねばならぬ  
いわ城高女では商相  
校を機に食事時間を  
用別室で商相を四年  
や教師連が圍んで懇  
談したが、その主なる  
疑難をみる左の通  
「四年生三千万ト  
をこなさねばならぬ  
いわ城高女では商相  
校を機に食事時間を  
用別室で商相を四年  
や教師連が圍んで懇  
談したが、その主なる  
疑難をみる左の通  
「四年生三千万ト  
をこなさねばならぬ

### 出来る限り努力

勞資懇談會席上  
商相努力を誓う

懇談  
教科書の紙は  
當分期待不可  
いわ城高女では商相  
校を機に食事時間を  
用別室で商相を四年  
や教師連が圍んで懇  
談したが、その主なる  
疑難をみる左の通  
「四年生三千万ト  
をこなさねばならぬ  
いわ城高女では商相  
校を機に食事時間を  
用別室で商相を四年  
や教師連が圍んで懇  
談したが、その主なる  
疑難をみる左の通  
「四年生三千万ト  
をこなさねばならぬ

醫藥用、化學用  
其他硝子製品一式  
新屋硝子工業株式會社  
平市 佃町  
電話 七四一四番

### 達成に全力を

石炭復興委員會

東部石炭復興會議第二開會、東部石炭復興會  
同委員會は三十日午前議が主体となり七月一  
十時半から男女講堂で日九未まで政府  
「大臣」はつきりわか  
取戻す一面採炭能率の  
「大臣」はつきりわか  
取戻す一面採炭能率の  
「大臣」はつきりわか  
取戻す一面採炭能率の

### 本社屋偉容整ふ

六日盛大な落成式

本社屋の政治、經濟、文化、社會の躍進的興隆に寄與  
し郷土新聞としての使命を達成せんが爲め、かねて平市田  
町四八番地(元磐城夕刊跡)に新社屋を建築中であつたが、  
木造二階建(一五四坪)が今完成し堂々たる偉容を出現  
するに至つたので、六日(昨日)午前九時から臨時株主總  
會を開いて経過報告引續き十時から落成式を挙げることに  
なつた、來賓として本縣知事を始め地方有力者百五十名  
招待、左の順序により學式、終つて新社屋樓上に於て祝宴  
に移るが、本社の前途に多大の期待と鞭撻を寄せられるこ  
とになつた

### 不可

隣組利用  
主食配給に  
當局の注意

主食の配給については  
隣組式にせつたいによ  
らないようと當局では  
再三注意を促している  
が、更に徹底を期する  
ため當局では通告して  
いる  
主食の配給については  
隣組式にせつたいによ  
らないようと當局では  
再三注意を促している  
が、更に徹底を期する  
ため當局では通告して  
いる

### 手の出ぬ蚊帳

若松氏から  
學校へ寄附

若松氏から  
學校へ寄附  
小名濱町中坪丸物組長  
と市役所に届いたカネは  
三百七十一張で市は  
十張のみ、平市内配  
給の帳カネを除いて  
は全部市内の希望  
者は地事に申請すれ  
ば自由商業協同組合  
から自由に買取るこ  
とになつており、値  
千圓以上と云ふ家  
小名濱町竹松原よう  
さん(六)は亡夫松吉翁  
の遺志により金一萬圓  
を學校設備にと寄附

### 濱通り軍優勝

縣地區對抗陸上大會

て出炭不足分を取戻  
すと共に年間三萬萬  
屯の出炭實現による  
る右宣言す  
濱通り軍優勝  
縣地區對抗陸上大會  
▲千五百メートル  
佐藤武  
▲八百メートル  
佐藤忠男  
▲八百メートル  
八戸メイトル  
▲八百メートル  
八戸メイトル  
▲八百メートル  
八戸メイトル  
▲八百メートル  
八戸メイトル

### 放出小麦粉配給

平ほか六ヶ町村に

輸入の小麦粉とも  
ろこし粉の配給があ  
一日から平市および郡  
下六町村にわたつては  
じめられる、郡下の放  
出数量は  
▲平市小麦粉二萬五  
百六十キロ、とうも  
ろこし粉二萬四千九  
百七キロ、湯本町  
小麦粉一萬三千八十  
キロ、植田町小麦粉  
一萬八千四百六十キ  
ロ、とうもろこし粉  
三萬八千九百九十キ  
ロ、豊間町小麦粉八  
千四百四十八キロ、  
粉四千四百四十八キ  
ロ、内郷町小麦粉八  
千四百四十八キロ、  
十四キロ、とうもろ  
こし粉七千九百二十  
キロ、好間村小麦粉  
三千三百キロ、とう  
もろこし粉三千九百  
十キロ、好間村小麦  
粉四千四百四十八キ  
ロ、とうもろこし粉  
九百六十キロ、各地  
とも五分の配給と依  
然やまひよく濃し

### 借敗

磐女決勝で

東北六縣對坑  
女子排球協會主催  
東北六縣對坑排球大會  
は二十八日盛岡市第一  
女子中等學校代表として  
出場した磐女チームは  
左の如く黒澤麗花女、  
仙台三女を破り決勝戦  
に進んだが秋田女子師  
範學校のため惜敗、榮  
冠を逸した  
▲一回戦  
磐女 2-10 黒澤麗花  
▲二回戦  
磐女 2-11 仙台三女  
▲決勝戦  
秋田 2-11 磐女

### 經濟監視員配置

先づ七名が平署へ

關物資を第一最初の配置は二十六日  
して縣民に明附で發令、平署には先  
る生活をとつ七名の官補が配置、  
縣では全警察三十日着任した  
新配置官補  
江川幸助、佐藤吉則  
藤田新一、高野善雄  
佐野基一、沖野富治  
坪井末次  
警へ多數の經濟監視員  
を配置することに決定  
平署は炭礦地帯と石城  
七濱漁場を控へている  
だけに監視員の数は縣  
内でも最も多く定員は  
内でも最も多く定員は  
内でも最も多く定員は

### 相談

調理加工の

製パン乗出す  
輸入食糧の放出にと  
ない平製パン所では調  
理加工に念を入れて有  
効に食することこそ運  
合軍の厚意にむくゆる

### 亡母夕力

喪主 豊田美孝

喪主 豊田美孝  
親戚 一 同

